

里海通信

能登町立小木小学校
令和2年10月12日
第2号

2年生 生活科「海の生き物を育てよう」

1学期に、海の生き物たちがどこにすんでいるのか磯観察を通して学習した2年生。2学期は、いよいよ飼育活動が始まります。まずは海の生き物たちを捕まえに、のと海洋ふれあいセンターへ行きます。たくさんの生き物たちをゲットすることができました。



次は生き物たちのすみか作りです。捕まえた生き物たちについて、図鑑を使って調べました。調べたことをもとにすみかに必要な材料を揃え、グループごとに話し合ってすみか作りに取り組みました。育てる生き物によってすみかが違いますね。採集活動と調べ学習を通して、生き物たちが喜ぶすみかを作ることができました！



今回、能登里海教育研究所の能丸先生に来ていただき、育て方や育てるときに注意することについてレクチャーしてもらいました。子どもたちの真剣な表情から、命を預かる上での責任感や、海の生き物たちへの愛情をもって育てるぞ、という意気込みを感じました。

生き物たちはしばらく2年教室にいます。気になる子どもたち、保護者の皆様、ぜひ見に来てくださいね。



6年生 里海科(理科) 「生き物のくらしと環境」

1学期末の里海アンケートの「親子で学ぶ海洋教育があるといい。」というご意見から、6年生で実施しました。その名も「親子で一緒に 里海科!」。今回は海の世界連鎖について学びました。陸の世界連鎖について学んだ6年生。海の世界連鎖の元をたどると植物になるのか、について親子で考えました。プランクトンの観察から、植物性と動物性の2種類が存在すること、それらが海の世界連鎖を支えているということ、プランクトンが住む豊かな海を守っていくためには私たちの生活の仕方に気を付けなければいけない、ということについて理解しました。能登里海教育研究所の浦田先生の解説の下、大変良い機会となりました。



6年生 里海科(総合的な学習の時間) 「地域の環境問題について考えよう」

昨年度から環境問題について考え、発信・啓発してきた6年生。1学期には自分たちの思いを提案書にまとめ、持木一茂町長と中口憲治教育長の前で堂々と発表しました。もっと説得力のある提案にするべく、昨年度との比較から再度、地域の環境に関する課題について考えました。結果的に、昨年度よりごみの量は減りましたが新たな課題も発見。その事実子どもたちも複雑な気持ちになったようです。その後、能登海上保安署の方から、海洋ごみによる事故や海洋汚染の話をお聞きました。今回の学びをどのような形で発信していくのか。今後の学習に注目です!



今回の学習をNHKワールド(海外向けの番組)の方が取材に来られました。放送日は2月上旬です。